

平成28年 6月26日(日)

12:00開演 (11:00開場)

十四世喜多六平太記念能楽堂

料金:全席指定(税込)

S席 9,000円 A席 8,000円 B席 7,000円

C席(1階桟敷席) 6,500円 D席(2階席) 6,500円

学生席(2階席) 2,500円 (25歳以下、要学生証提示)

・午前11時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。

お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は午前10時45分より発売いたします。

主催: 公益財団法人 十四世六平太記念財団 協力: 喜多流職分会

後援: 品川区、品川区教育委員会

喜多流 自主公演

平成二十八年六月

鉄 羽 兼
輪 霞 留 衣 平
谷 佐 藤 栗 谷 章 雄
大 作 能 夫

チケット予約購入のご案内

インターネット

喜多能楽堂ホームページ <http://kita-noh.com/>
(24時間対応、要登録・無料)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示された番号をレジにご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

クレジットカードでお支払いの上(ホームページでのweb決済)、ご予約の際に画面に表示された番号を窓口にご提示いただき、チケットをお受取りください。現金でのお支払いはできません。

電話予約

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00 ~ 午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受取りください。お支払いは現金またはクレジットカードをご利用いただけます。

② 郵送

チケット代金と手数料を指定の銀行口座にお振込みください。
入金確認後、簡易書留にてチケットをお届けいたします。

③ 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際お伝えした番号を窓口にご提示の上チケットをお受取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口

喜多能楽堂事務局 TEL 03-3491-8813
(午前10:00 ~ 午後6:00 休館日あり)

【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみとなります。

※お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。

ご予約の際ご案内いたします。

※28年度前半5回分は発売中です。

※ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

ご注意

- ・開演中の途中入場はお断りいたします。
- ・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
- ・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
- ・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
- ・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
- ・ロビー・見所でのご飲食はできません。2階ラウンジをご利用ください。
- ・喜多能楽堂は全館禁煙です。屋外喫煙所をご利用ください。
- ・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。コインロッカーもご利用ください。
- ・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

喜多流自主公演年間優待券

5枚綴り 35,000円

- ◆ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な年間優待券です。
- ◆お求めは喜多能楽堂事務局まで。各喜多流職分でも承ります。
- ◆ご観能の際は別途、座席指定券をご予約ください。
 - ・追加料金はかかりません。
 - ・ご予約は、インターネット、電話、窓口で承ります。
 - ・年間優待券のみでの観能はできません。
 - ・ご入場の際は、年間優待券と座席指定券をご提示いただきます。
- ◆ご利用は、表記年度中(4月~3月)の喜多流自主公演のみ有効です。
青年能には使用できません。

自主公演観客席御案内



S席	9,000円	C席(1階桟敷席)	6,500円
A席	8,000円	D席(2階席)	6,500円
B席	7,000円	学生席(2階席)	2,500円

会場案内図



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。
目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

十四世喜多六平太記念能楽堂

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

TEL: 03-3491-8813 FAX: 03-3491-8999

喜多能楽堂ホームページ: <http://kita-noh.com/>

六月 自主公演番組

能

後シテ・今井兼平の靈

前シテ・老翁

栗谷 能夫

兼 平

ワキ・旅僧 森 常好

ワキ連・従僧 森 常太郎

ワキ連・従僧 則久英志

アイ・矢走渡守 河野 佑紀

友枝 雄太郎 粟谷 充雄

佐藤 阳 金子 敬一郎

佐々木多門 長島 茂

狩野 祐一 内田 成信

大鼓 亀井 洋佑
小鼓 曽和 正博 笛 中谷 明
地謡
（約八十分）

狂言

昆布壳

シテ・大名 野村 万蔵

アド・昆布壳 野村虎之介

休憩（二十分）

能

シテ・天女 佐藤 章雄

衣 ワキ・漁夫白龍 館田 善博

大鼓 國川 純 太鼓 三島元太郎

霞留 ワキ連・漁夫 野口 能弘

小鼓 田邊 恭資 笛 藤田朝太郎

ワキ連・漁夫 野口 琢弘

香川 靖嗣 太鼓 渡辺 康喜

後見 塩津 哲生 地謡 塩津 圭介

大鼓 佐藤 寛泰 太鼓 友枝 雄人

渡辺 康喜 大村 定

三島元太郎 藤田朝太郎

香川 靖嗣 太鼓 出雲 康雅

太鼓 狩野 了一

仕舞

休憩（十分）

山 姥

狩野 了一

能

鉄

輪

ワキ・安倍晴明 村瀬 提

大鼓 佃 良太郎 太鼓 桜井 均

ワキ連・男 村瀬 慧

小鼓 森 貴史 笛 内瀬 慶三

アイ・貴船神社の社人 能村 晶人

高林 昌司 太鼓 高林 崎二

友枝 昭世 地謡 中村 邦生

松井 彬 地謡 栗谷 明生

谷 友矩 地謡 大島 輝久

高林 昌司 太鼓 高林 崎二

友枝 真也 地謡 中村 邦生

谷 友矩 地謡 栗谷 明生

附祝言

兼平（かねひら）

木曾から来た旅の僧が、琵琶湖畔矢橋（やばせ）の浦まで来て、老人の漕ぐ舟に粟津までの便船を乞うた。老人は僧を舟に乗せ、あたりの名所を教えたが、粟津に送りとどけると忽然と姿を消す。（中入）土地の者から木曾義仲に従つてこの粟津の合戦に果てた今井兼平の話を聞いた僧が一夜、老人となつて言葉を交わした兼平の靈を弔う。次いで僧の問うままに、一騎当千の秘術を尽くしたが多勢に無勢、ついに太刀をくわえて馬から逆さまに落ち最後を遂げたさまを再現し、その姿は消えた。

昆布壳（こぶうり）

大名は外出をするのに今日に限って太刀持ちが居ない。適當な者に供をさせようと、通りかかった若狭の小浜の召し（献上）の昆布を売る男をつかまえて、無理矢理太刀持ちにさせる。怒った昆布売りは大名を油断させてから太刀を抜いておどし、「昆布召せ、昆布召せ」と昆布を売らせる。昆布の売り声を淨瑠璃節、小歌節、といろいろ変えさせたうえ、昆布売りはそのまま太刀と小刀を持って逃げてしまう。

（約三十分）

羽衣 霞留（はごろも かすみどめ）

駿河国、三保の松原に住む漁師の白龍（はくりょう）が、釣りに出ようと浜に出ると、妙音が響き、異香が薫する。すると一本の松の枝に掛けてある美しい羽衣を見つける。白龍は家宝にしようと持ち帰ろうとすると、一人の女に呼び止められる。彼女は天人で衣は天の羽衣だという。天人はその羽衣を取られると自分は天に帰れなくなるといつて嘆き悲しむので、白龍は羽衣を返す代わりに天上の舞楽をみせてくれと所望する。天人は羽衣を身にまとい、三保の松原の春の景色を愛でながら舞を舞い、富士を見下ろして空遠く去つて行く。

鉄輪（かなわ）

夫に見捨てられた市井の女が、恨みを晴らす祈願のために貴船明神へ丑の刻詣をする。すると社人は、顔に丹（赤い色の塗料）を塗り、鉄輪を頭につけて火を灯し、怒れる心を持てば鬼となつて恨みを晴らせる」と神託を告げる。女は神託を実現させるため急いで我が家へ帰る。（中入）一方、夫は最近夢見が悪いので陰陽師の安倍晴明に祈祷を頼む。安倍晴明は祭壇の四隅に御幣を立て、夫と後妻の人形を作り祈祷を始める。すると鬼になった前妻の生靈が現れる。生靈は夫の人形に向かつて恨みを述べ、後妻の髪を手にからめとつて打ちたたき、さらには夫の命を取ろうとするが、祭壇に祀られた御幣に宿る三十番神の神々に追われて呪いの言葉を残して消え失せる。

（約六十五分）

平成二十八年九月自主公演番組予告

平成二十八年九月二十五日（日）正午始
十四世喜多六平太記念能楽堂

歌 占 中村 邦生
夕 顔 栗谷 充雄
絃 上 栗谷 浩之